2026年12月期第3四半期 決算説明資料

株式会社船場　証券コード:6540

Copyright ©SEMBA

1 決算の状況（2026年12月期第3四半期）
2 通期業績見通し
3 トピックス
4 参考資料

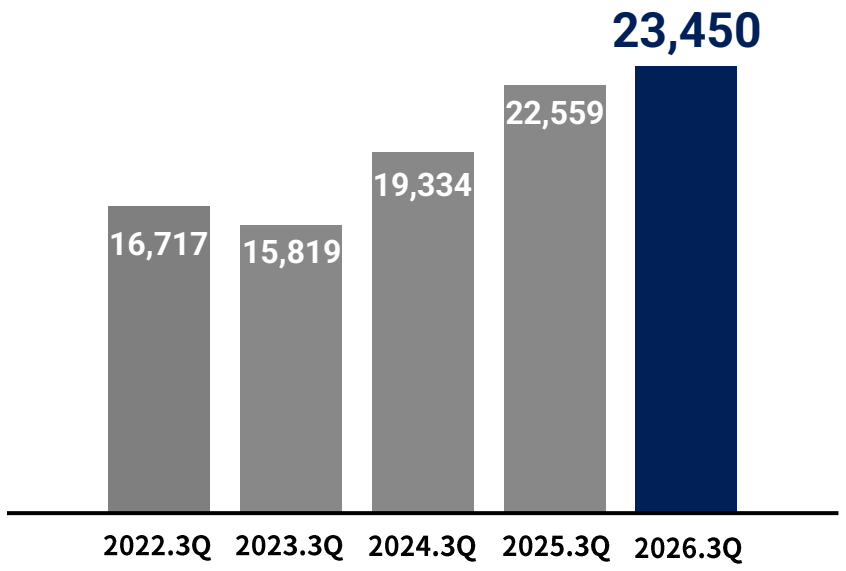
1

決算の状況（2026年12月期第3四半期）

業績ハイライト

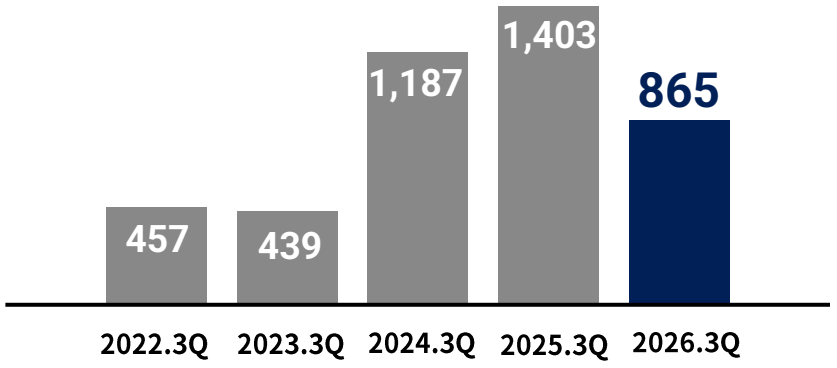
- 売上高は、継続して受注してきた大型案件である麻布台関連PJの完工等もあり、増収。
- 営業利益は、今後の更なる成長に向けたキャリア採用人員等（前年同期比+55名）による人員増に伴う人件費等が増加し減益。

売上高



営業利益

[単位：百万円]

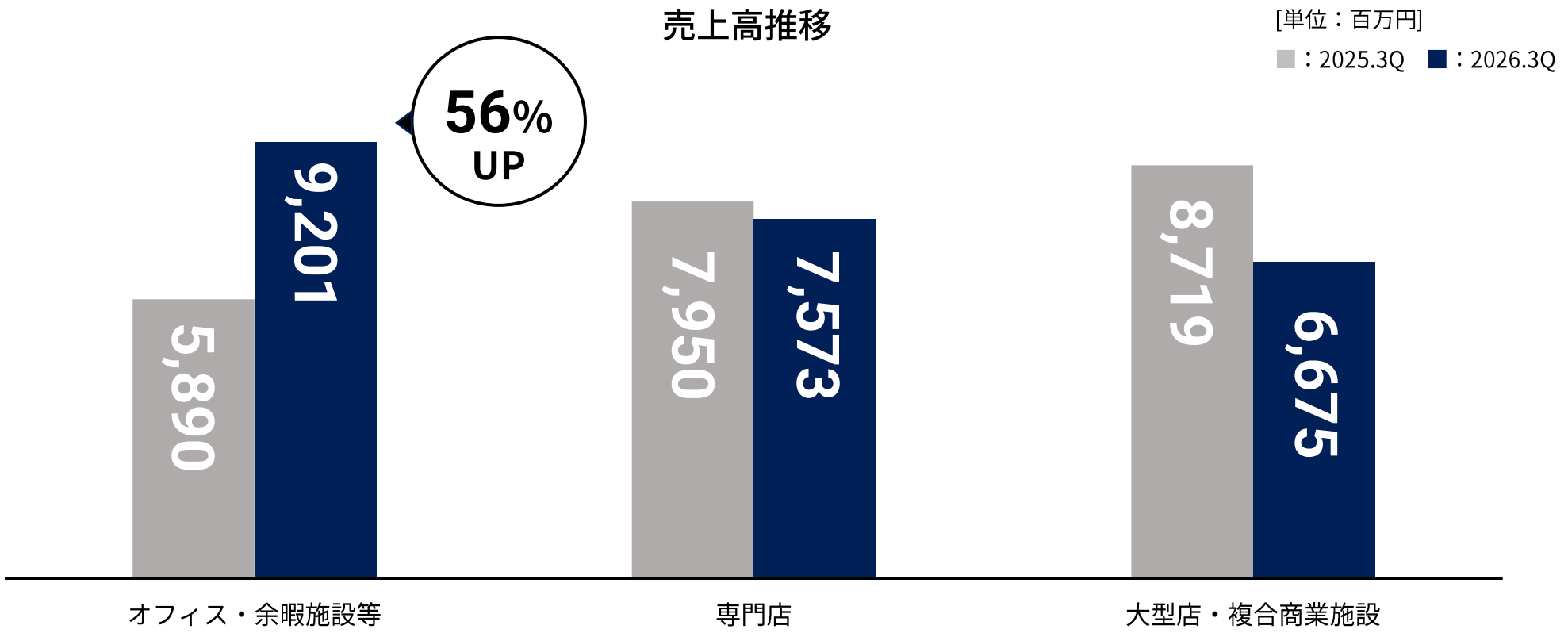


連結損益計算書

	2025.3Q		2026.3Q			
	金額[百万円]	構成比	金額[百万円]	構成比	前年同期比	ポイント
売上高	22,559	100.0%	23,450	100.0%	103.9%	オフィス・余暇施設等において大型案件の完工等もあり増収
売上原価	18,348	81.3%	19,428	82.9%	105.9%	事業部門の体制強化に伴う人件費・工事経費増加により売上原価率が上昇
売上総利益	4,210	18.7%	4,021	17.1%	95.5%	増収だったものの原価率の上昇に伴い減益
販管費	2,807	12.4%	3,155	13.5%	112.4%	成長に向けた体制強化に伴う人員増加などにより人件費が増加
営業利益	1,403	6.2%	865	3.7%	61.7%	売上総利益の減少及び販管費の増加に伴い減益
経常利益	1,364	6.0%	912	3.9%	66.9%	営業利益の減少に伴い減益
親会社株主に帰属する四半期純利益	931	4.1%	606	2.6%	65.1%	税金等調整前四半期純利益の減少に伴い減益

売上高：市場分野別 内訳

- 引き続き、マーケットが活況である「オフィス・余暇施設等」の戦略的営業活動が奏功し、56%の増収。
- 「大型店・複合商業施設」は、新設の複合商業施設案件の計上等があったものの、新・改装含め競争は激化しており減収。



連結貸借対照表

	2025.12末		2026.9末			
	金額[百万円]	構成比	金額[百万円]	構成比	前期末比	ポイント
流動資産	19,840	89.6%	19,064	88.1%	96.1%	現金及び預金、棚卸資産が増加したものの前期末の売上債権の回収などにより減少
固定資産	2,298	10.4%	2,582	11.9%	112.4%	人員増に伴うオフィスリニューアル及び差入保証金などにより増加
資産合計	22,138	100.0%	21,646	100.0%	97.8%	
流動負債	7,110	32.1%	6,982	32.3%	98.2%	契約負債の増加があったものの仕入債務の支払などにより減少
固定負債	438	2.0%	353	1.6%	80.6%	長期未払金の支払などにより減少
負債合計	7,548	34.1%	7,335	33.9%	97.2%	
純資産	14,589	65.9%	14,310	66.1%	98.1%	親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があったものの配当金の支払などにより減少
負債純資産合計	22,138	100.0%	21,646	100.0%	97.8%	

受注残高：市場分野別 内訳

受注残高は、上場（2016年）来、過去最高を更新。
マーケットの活況が続く「オフィス・余暇施設等」の、大型オフィス関連施設や各エリアでのホテル案件の受注獲得等により伸長したことから、前年同期比18.4%増。（第2四半期末比19.5%増）

	2025.3Q末	2026.3Q末	
市場分野	金額[百万円]	金額[百万円]	前年同期比
専門店	1,604	1,519	△5.3%
大型店・複合商業施設	2,834	2,155	△23.9%
オフィス・余暇施設等	5,702	8,336	46.2%
計	10,141	**12,012**	**18.4%**

2

通期業績見通し

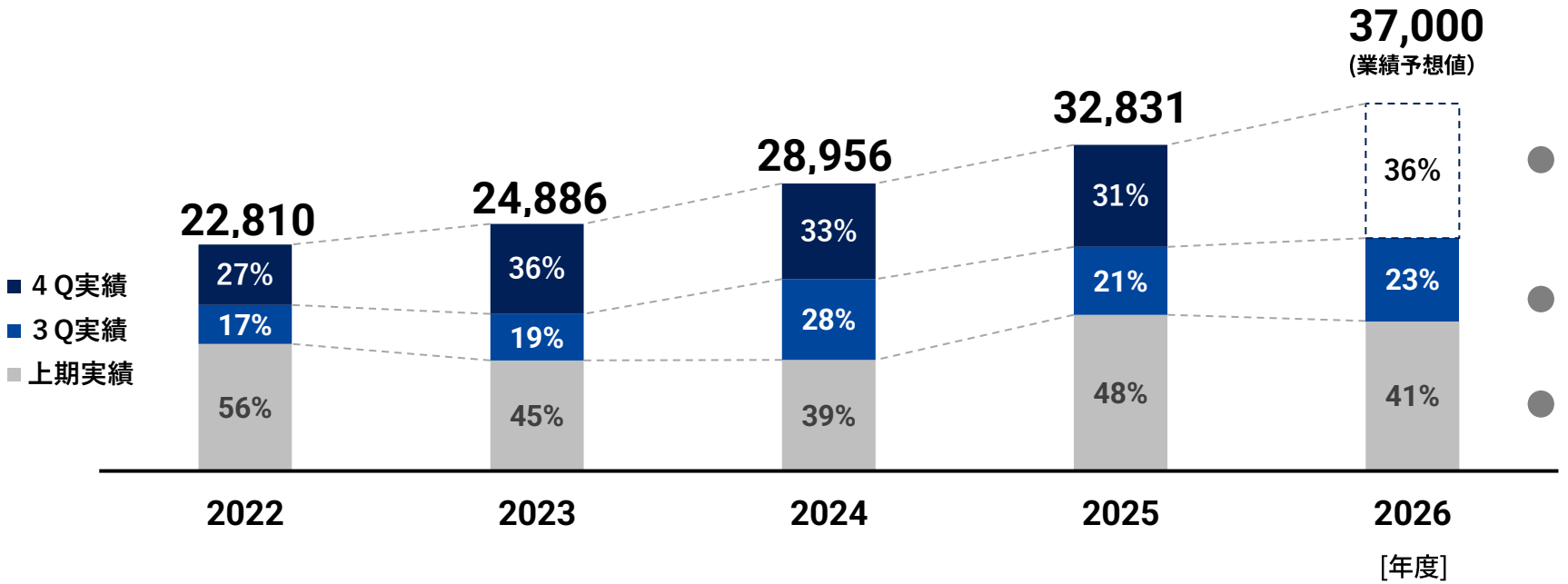
2026年12月期通期見通し

当期の通期業績予想は期首より下期偏重の計画であり、第3四半期までの進捗状況及び受注残高からも通期業績予想値は据え置き。

第3四半期末 受注残高	5,132	7,792	9,361	10,141	**12,012**

通期売上高の構成比推移

[単位：百万円]



4Q以降主要案件

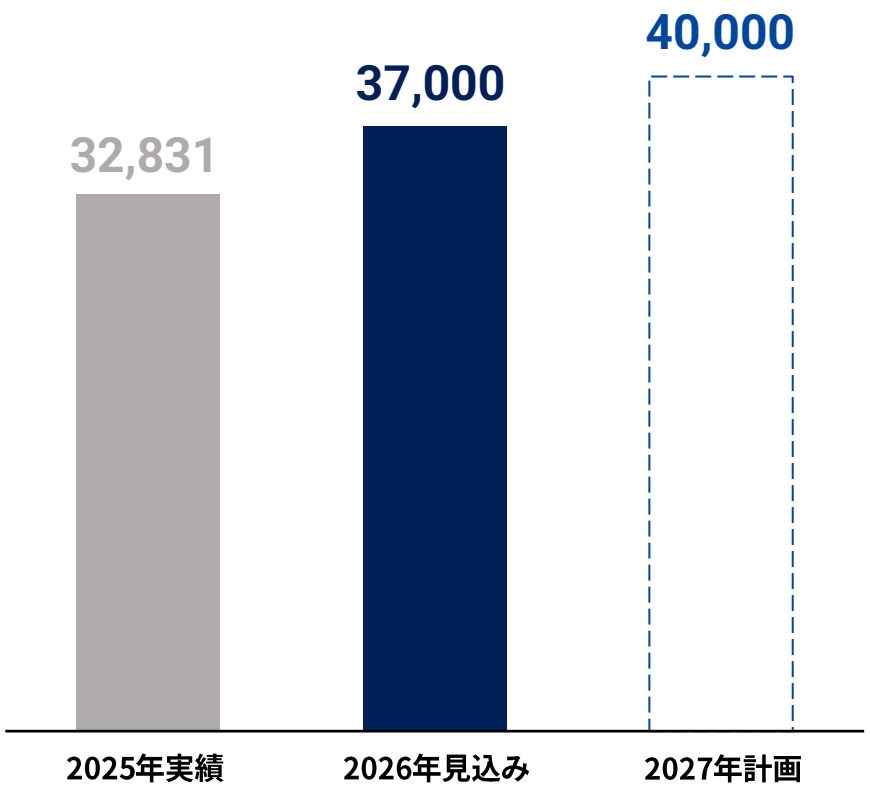
- 都内
  再開発ビル共用施設案件
  外資系金融機関オフィス案件
- 北海道・関西・沖縄
  ホテル案件
- 九州
  医療・健康関連施設案件　　等

2026年12月期 通期見通し及び中期経営計画2027最終年度業績計画

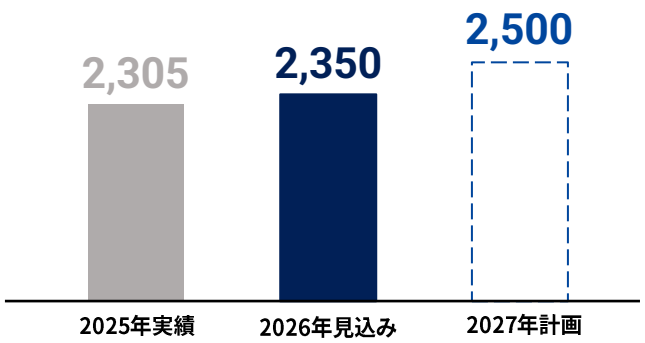
今期の通期業績予想値の達成を見据えながらも、中期経営計画2027における2027年度売上高400億円を目指し、売上拡大に向けた体制強化を図り更なる成長へ

［単位：百万円］

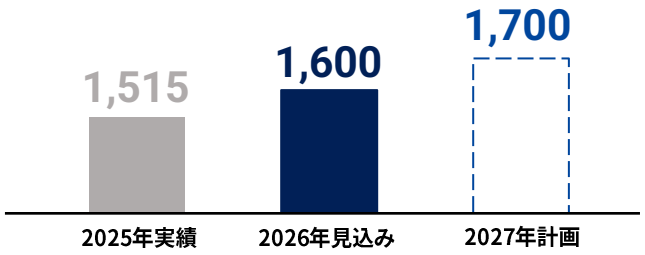
売上高



営業利益

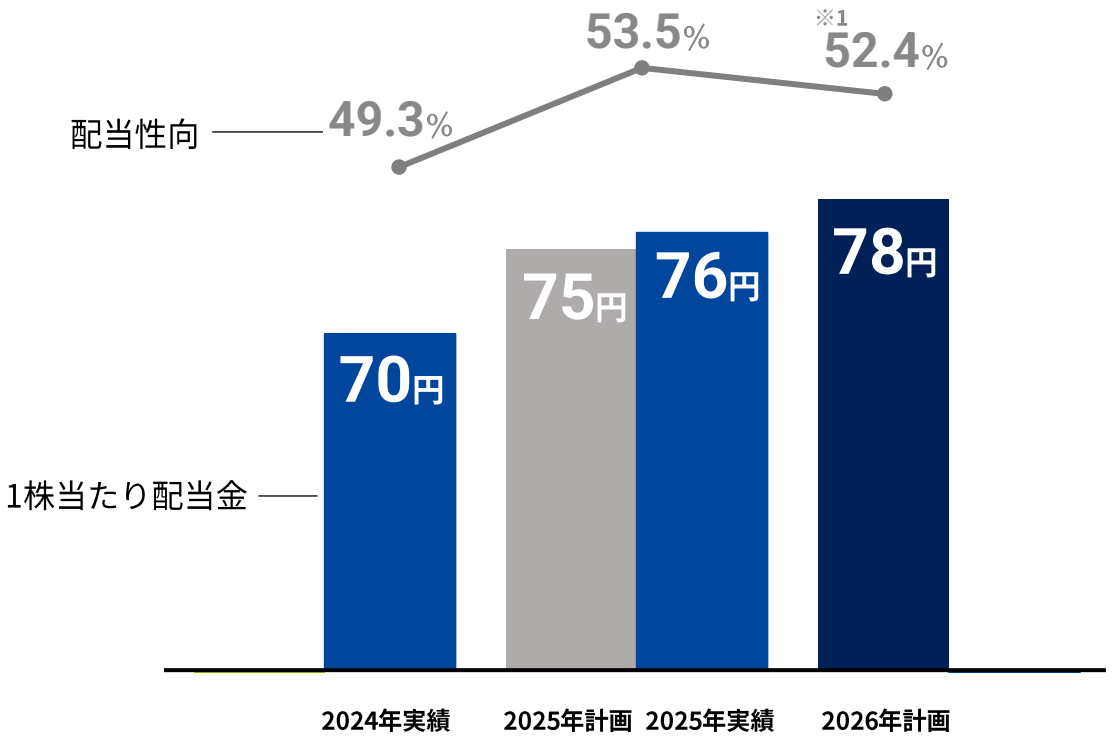


当期純利益



配当計画

中期経営計画2027で掲げる配当性向50%以上を目標に、2026年は2円増配の1株当たりの配当金78円を計画



※1 2026年計画の配当性向は2026年12月期予想ベース

株主の皆様に対する利益還元を最重要経営目標の一つとする基本方針を踏まえた株主還元の実施

中期経営計画2027（2025～2027年）目標

配当性向	**50**%以上

3

トピックス

戦略的業務提携を締結
船場×ザ・コンランショップ

当社は、このたび、株式会社コンランショップ・ジャパン（以下、ザ・コンランショップ）と、法人市場における販売機会の拡大、空間構築プロジェクトでの共同提案、商品・サービスの共同開発を目的とした戦略的業務提携を開始しました。本提携は、ザ・コンランショップが持つグローバルなブランド力、商品編集力、ライフスタイル提案力と、船場が持つ空間の企画・設計・施工・現場対応力を掛け合わせることで、商品単体の販売や空間単体の設計にとどまらず、コンセプト策定、商品選定、デザイン、施工、納品、スタイリングまでを一貫して提供し、国内外で新たな価値を届けてまいります。

SEMBA × THE CONRAN SHOP. T C S .



■ザ・コンランショップについて
世界中から厳選した家具や照明、インテリア小物、ギフトに加え、オリジナルのアイテムも多く取り揃えるホームファニシングショップ。1973年にイギリスロンドンに1号店がオープン。現在では世界4カ国で展開し、インスピレーションの源や、新しい発見のあるアイテムとスタイリングを通して、日々の生活をより豊かに楽しむことを提案。現在日本では６店舗を展開、あわせて空間設計のプロジェクトも手掛けている。

AXIS「SEMBA NEW STATEMENT 空間の解放」10月5日発刊

デザイン誌「AXIS」による2026年11月号増刊号「SEMBA NEW STATEMENT 空間の解放」が2026年10月5日（月）に発刊されました。本誌は、「空間の解放」をテーマに、既成概念に捉われない視点から空間の本質的な価値を問い直し、次の時代に求められる空間創造のあり方をクリエイティブの視点から描く一冊です。６名の写真家によって再解釈された空間の写真や、外部パートナーおよび社員へのインタビューなどを通じて、変化の激しい社会環境のなかで、船場がグローバルに価値を提供するクリエイティブカンパニーとしてさらなる成長を遂げるための思想や可能性を探求しています。





■AXISについて

「AXIS」は、デザインの視点で、人間の可能性や創造性を伝えるメディア。東京・六本木のデザイン拠点、AXISビルのオープンと同時に1981年に創刊。独自の特集企画やバイリンガル編集、クオリティの高いレイアウトで独自の誌面を展開してきました。創刊以来45年間にわたり培った信頼、ネットワーク、企画編集力は、デザイナーを中心としたクリエイティブ層、社会に影響力を持つオピニオンリーダーなどから高い支持を得ています。

オフィス・余暇施設等

ファンとメンバーが近い距離でつながる、成長の原点となるシアター
Cloud ten THEATER

秋元康氏が総合プロデュースするシアターボーイズプロジェクト「Cloud ten」の活動拠点となる専用シアター。新たな才能とファンが共に成長する“原点の場”として、臨場感と没入感を追求したシアター空間を創出しました。約300席あるシアターは、大型LEDビジョンや演出照明を備え、客席が舞台を囲むレイアウトを採用することで、メンバーとファンが近い距離でつながる、一体感のある空間に。商業施設内のシアターに求められる高い遮音性能を確保しながら、多彩な演出設備を実装する難易度の高い施工を実現しました。





オープン：2026年8月
所在地：東京都江東区
クライアント：From ZERO合同会社
担当業務：【設計】ホワイエ・ファサード詳細設計：船場 / 全体設計・監修：(株)シアターワークショップ・(株)NHStudio
【施工】全体施工：船場
撮影：© Nacása & Partners Inc. FUTA Moriishi
物件名称：Cloud ten THEATER Supported by Rakuten みんなのチケット

専門店

プライムファイブ初のオールパッケージ展開店舗
PRIME FIVE TULLY’S COFFEE 新宿サザンテラス店

TULLY’S COFFEEが掲げる「5つの最高」を体現したコンセプトショップ「PRIME FIVE」。新宿サザンテラス店は、タリーズ初のインストアベーカリーを導入し、コーヒーと焼きたてのパンを軸にアート、音、素材など多様な要素を取り入れた、五感で楽しめる空間をつくりました。1階は大きく湾曲するカウンターや壁面によって動きと賑わいを生み出し、2階は小上がり席や植栽を配置して、ゆったりとくつろげる空間に。アクティブな1階と落ち着きのある2階で緩急をつけながら、コーヒー豆をリサイクルした内装材やアート、高音質のBGMなど、五感に働きかける要素を随所に取り入れました。



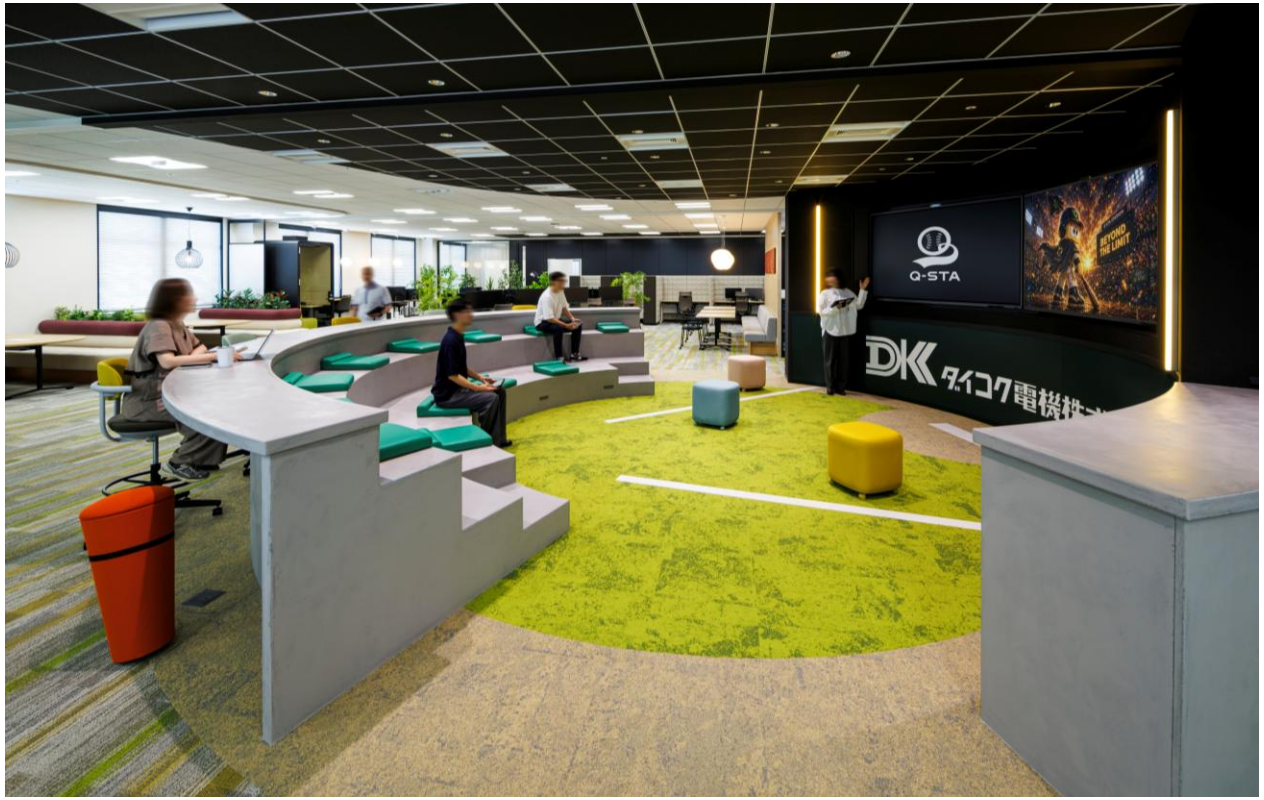


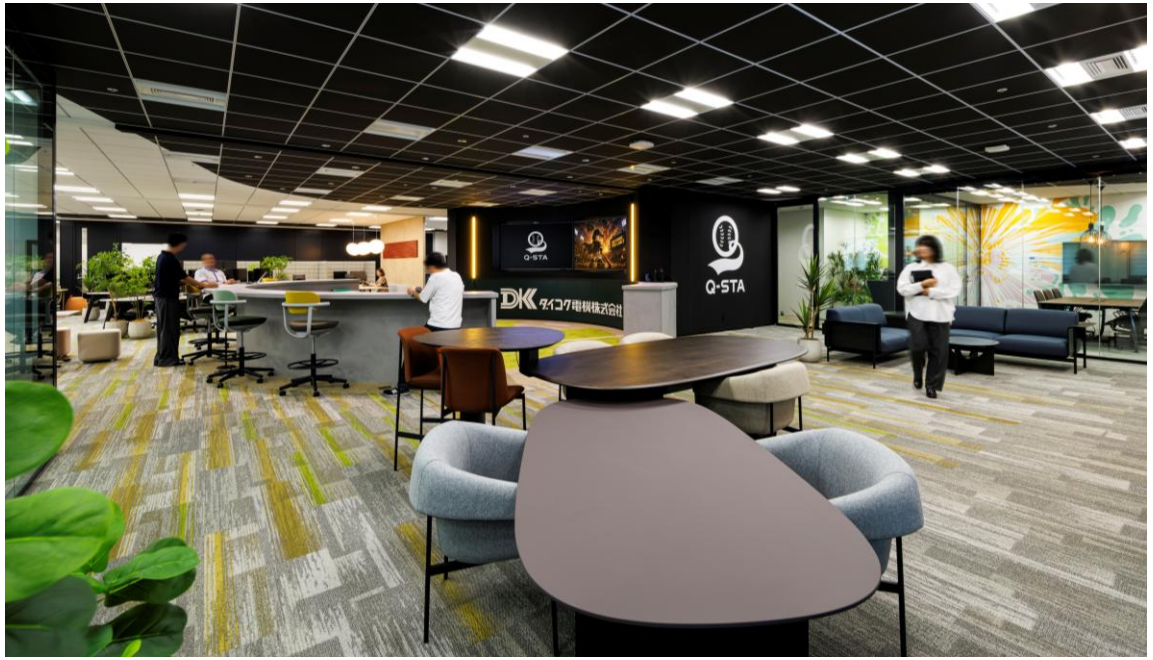
オープン：2026年8月
所在地：東京都渋谷区
クライアント：タリーズコーヒージャパン(株)
担当業務：内装デザイン・設計、制作・施工、BIM

オフィス・余暇施設等

人や発想が混ざり合い、創造力が高まるオフィス
ダイコク電機　九州支店オフィス

当社は、データとITでアミューズメント業界を支えるダイコク電機(株)の九州支店移転プロジェクトを、コクヨマーケティング(株)と協業して手掛けました。ダイコク電機(株)の企業理念「あなたの灯す明りを輝かそう。世界を熱狂させよう。」をデザインの起点に、人と人が自然に交わり、新たなアイディアやイノベーションが生まれるオフィスを創出しました。また、設計段階からBIMを活用して関係者間で完成イメージを共有し、スムーズな合意形成と円滑なプロジェクト推進を実現しました。





オープン：2026年7月
所在地：福岡県福岡市
クライアント：ダイコク電機(株)、コクヨマーケティング(株)
担当業務：内装デザイン・設計、制作・施工、BIM
撮影：グレアフォト　横山 隆俊

© SEMBA CORPORATION

4

参考資料

企業概要

会社名	株式会社船場（英文名称：SEMBA CORPORATION）
代表者	代表取締役社長　小田切 潤
創　業	1947年（昭和22年7月）
設　立	1962年（昭和37年2月）
所在地	〒105-0023　東京都港区芝浦1-2-3　シーバンスS館 9F
事業内容	空間創造における調査・分析、コンセプトメイキング、企画・コンサルティング、デザイン・設計、制作・施工、デジタル技術を活かした空間演出、メンテナンスならびに施設運営。 大型商業施設や飲食店といった商空間から、オフィス、教育、ヘルスケア、ホテル、余暇施設など幅広い分野において、国内及び海外5拠点で事業を展開。「未来にやさしい空間を」をミッションに、空間創造の全プロセスを一貫してサポートしていきます。
従業員数	船場グループ597名　（2026年9月末）

展開拠点　アジア圏に広がるグループネットワーク

海外拠点

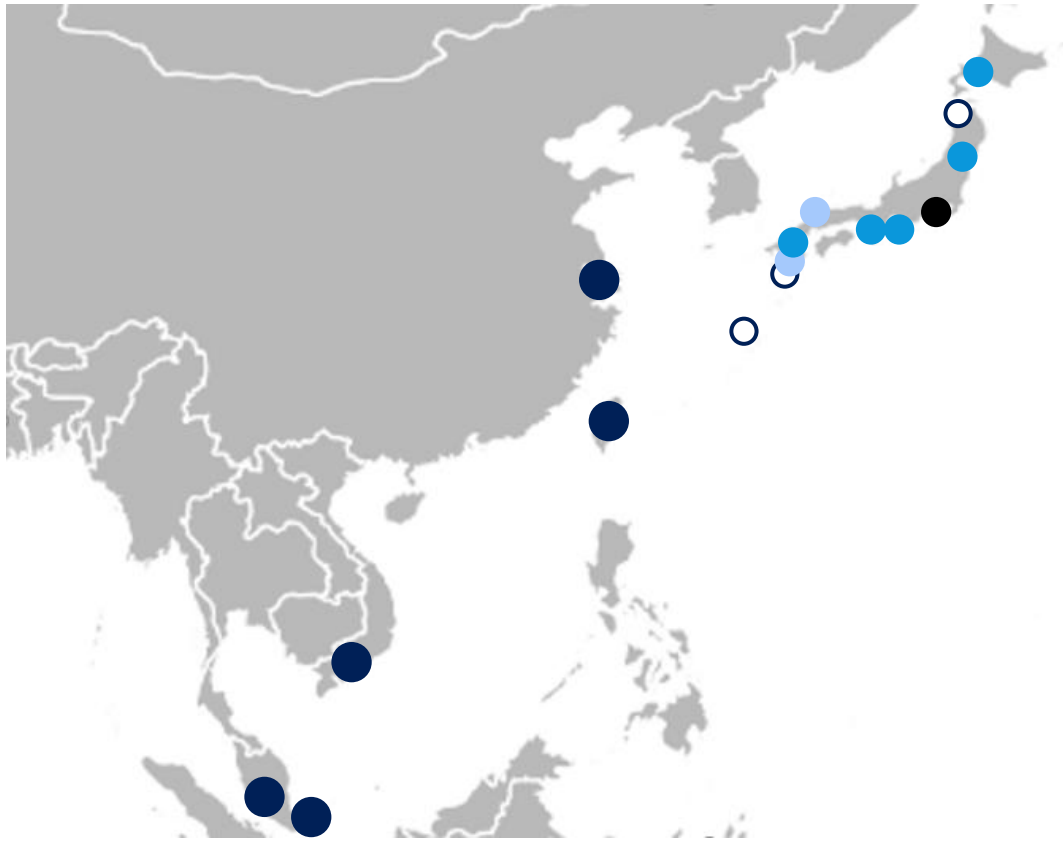
台湾（1987年設立）

シンガポール（1990年設立）

上海（2006年設立）

ベトナム（2013年設立）

マレーシア（2019年設立）



東京本社

支店

北海道・仙台
名古屋・大阪・福岡

生産工場

出雲・熊本

地域法人

青森・鹿児島・沖縄

企業理念

SUCCESS PARTNER

Vision

Good Ethical Company

気のあうエシカルな仲間たち

空間創造で培ってきた人への配慮や思いやりの姿勢を、地域や自然環境にまで広げ、
より良い社会の構築を目指すエシカルな存在になります。
さらに、私たちの想いに共感する仲間を増やし、循環型社会の共創を目指します。

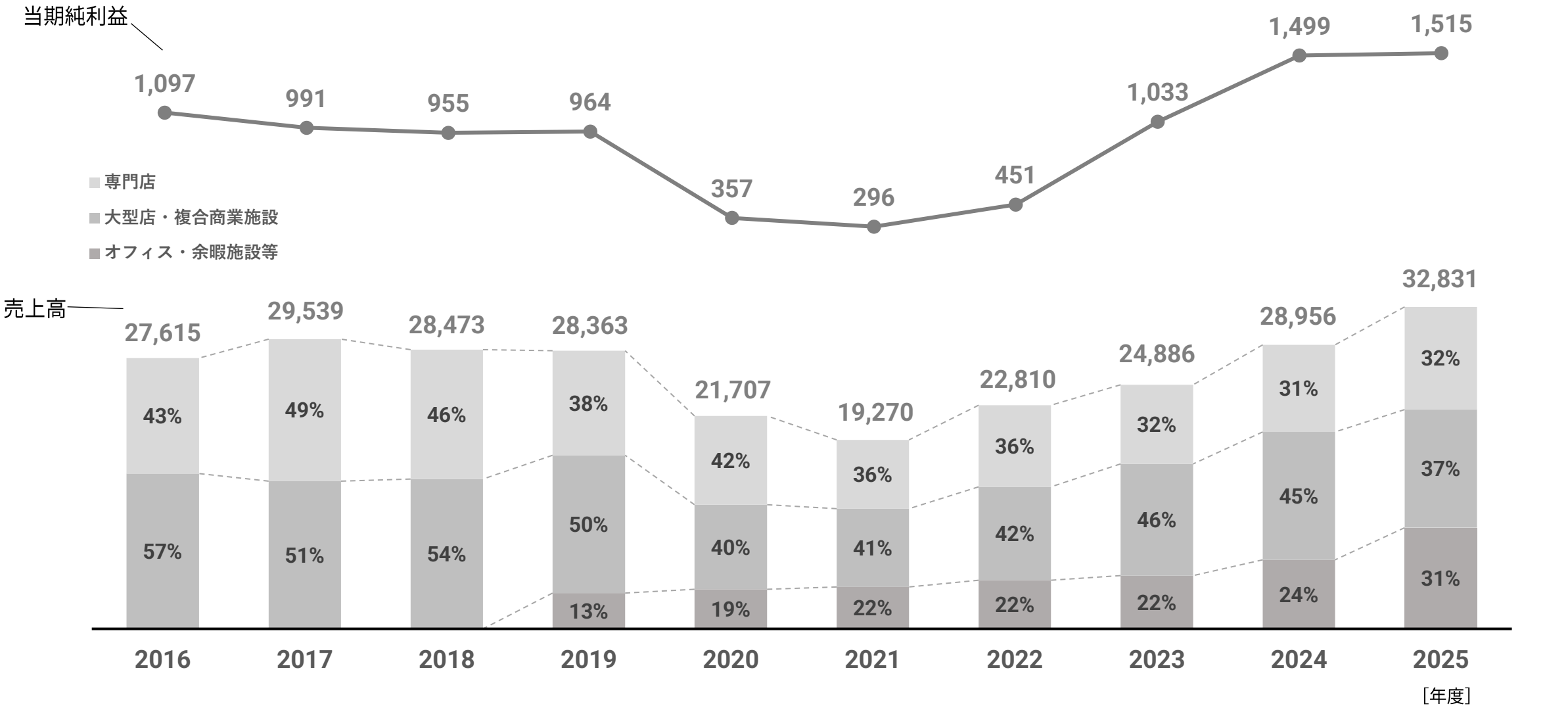
Mission

未来にやさしい空間を

利便性や効率、見た目だけを考えるのではなく、サスティナビリティを意識した
地球に負荷をかけないという本質的な価値を持つ空間を未来に残していきます。

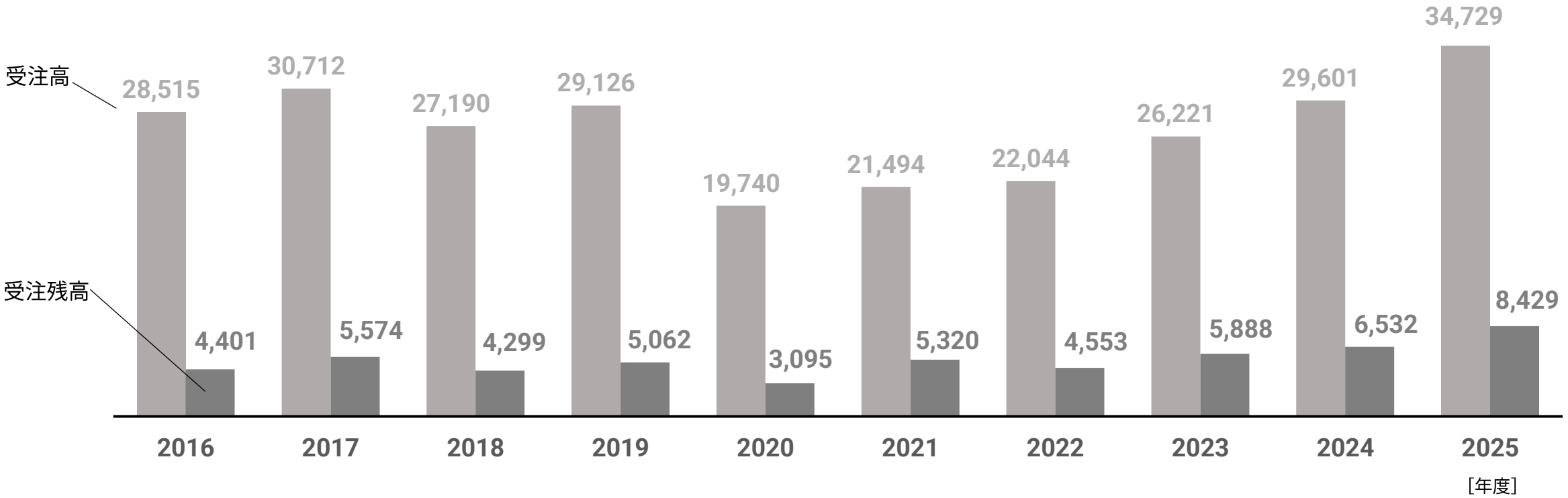
上場以降の売上・当期純利益推移

［単位：百万円］

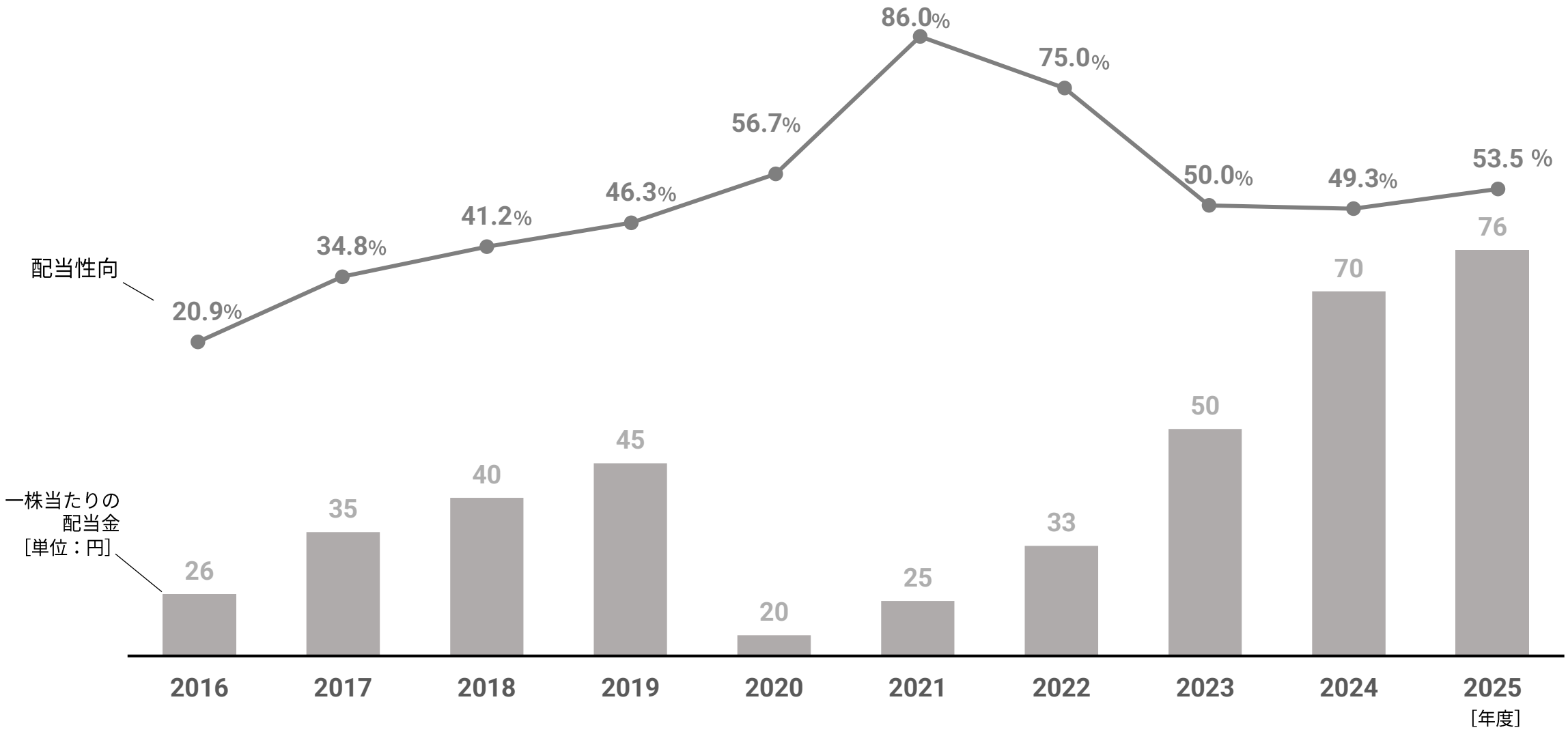


上場以降の受注高・受注残高推移

［単位：百万円］



上場以降の配当推移


配当性向
20.9%
34.8%
41.2%
46.3%
56.7%
86.0%
75.0%
50.0%
49.3%
53.5 %
一株当たりの
配当金
[単位：円]
26
35
40
45
20
25
33
50
70
76
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
2023
2024
2025
[年度]

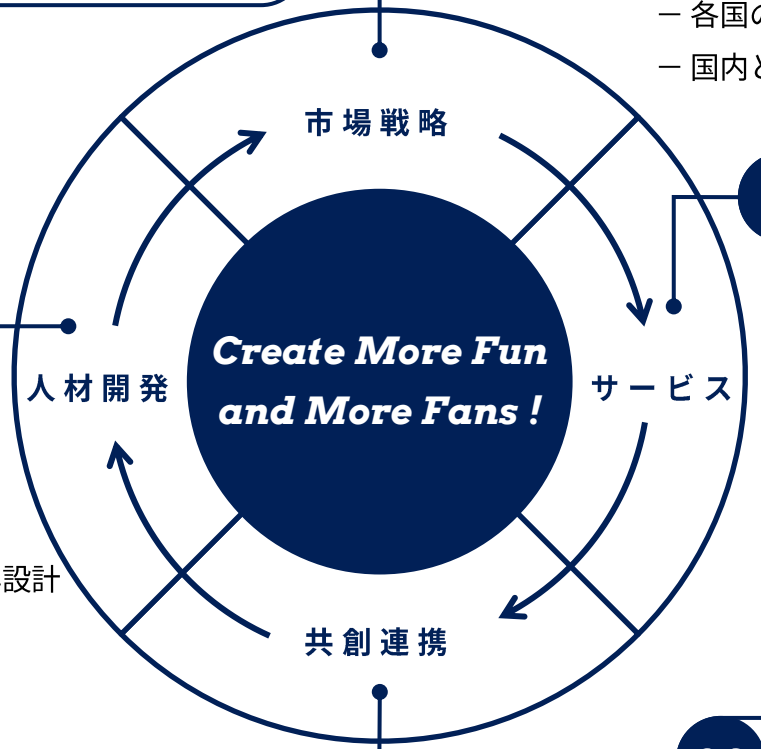
中期経営計画2027における施策相関図

“ Good Ethical Company ” のファンベース構築

― 「Ethical Innovation Hub」の開設
― 顧客との関係強化によるコア・ファンの創出

グローバル市場の深耕

― 各国の事業体制の再構築
― 国内との連携強化と海外人材の育成



サービス領域の拡大と提供価値の向上

― エシカルデザインの更なる発展
― デジタルによる事業プロセスの変革
― クリエイティブネットワークによる共創の加速
― プロジェクトマネジメントによる業務の拡大

未来を創る人材の育成と獲得

― 多様なキャリアビジョンが描ける人事制度の再設計
― 採用強化と社員が活躍できる環境整備
― 業績と連動した報酬のフィードバック
― 社員・パートナーが共に“学べる環境”の構築

持続的成長を支えるサプライチェーン

― 「サプライチェーン戦略室」の設置
― グループ会社㈱装備との一体戦略による納品力の拡充

※上記を加速するために、M&Aなどの成長投資も推進していく方針

中期経営計画2027　財務目標

中期経営計画2027　最終年度目標

売上高	**400 億円**
営業利益	**25 億円**
純利益	**17 億円**

中期経営計画2027（2025～2027年）目標

配当性向	**50 %以上**
ROE	**10 %以上**

●積極的な成長投資による企業規模の拡大、利益率の向上及び企業価値向上（人材戦略、DX戦略、海外戦略、M&A戦略）

●資本構成の最適化による資本効率の改善

●株主の皆様に対する利益還元を最重要経営目標の一つとする基本方針を踏まえた株主還元の実施

【ご注意事項】

本資料は、将来に関する見通しや計画に基づく予測が含まれております。
これらの予測及び見通しは、リスク及び不確実性を内包するものであり、
その実現を保証するものではありません。
実際の業績等は、様々な要因により記載の予測と異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

株式会社 船場　　経営企画部
E-mail ：ir@semba1008.co.jp

株式会社船場　証券コード:6540　IRサイトはこちら